

第26回若山牧水賞受賞者について

【受賞者】 黒瀬 珂瀾（くろせ からん）氏
（歌人。富山県富山市在住）

【受賞作品】 歌集『 光の針がうたふ 』（第4歌集）
発行所／書肆侃侃房
発行年月日／令和3年2月1日

【プロフィール】 昭和52年7月22日、大阪府生まれ（現在44歳）
大阪大学大学院文学研究科修士課程修了

【受賞歴】

平成10年 中部短歌新人賞受賞
平成15年 歌集『黒耀宮』で第11回ながらみ書房出版賞受賞
平成28年 歌集『蓮喰ひ人の日記』で第14回前川佐美雄賞受賞
令和 3年 第38回とやま賞受賞

【作歌活動】 短歌結社「未来短歌会」会員。
同人誌[sai]同人。「鱧と水仙」同人。
歌誌「未来」選者。「読売歌壇」選者。
歌集：『黒耀宮』『空庭』『蓮喰ひ人の日記』
その他著書：『街角の歌』など

第26回若山牧水賞の概要

1 賞の目的

人間や自然への溢れる想いを歌い、日本の短歌史に偉大な足跡を残した国民的歌手「若山牧水」の業績を永く顕彰するため、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者に賞を贈ることによって、我が国の短歌文学の発展に寄与するとともに、心豊かな文化意識の高揚と本県のイメージアップを図る。

2 主催

宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎日日新聞社、延岡市、日向市

3 賞の対象

令和2年10月1日から令和3年9月30日までに刊行された歌集及び若山牧水論の著者の中から、これまでの実績を参考にし、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者。

4 受賞者数

原則として毎年1名

5 選考方法

上記3の対象者の中から、全国の有力歌手にアンケートを行い、その結果を参考にして選考委員の総意をもって運営委員会の決定とする。

6 選考委員

佐佐木幸綱氏（歌手、日本芸術院会員、「心の花」主宰・編集長、第2回若山牧水賞受賞）
高野 公彦氏（歌手、「コスモス」編集人・選者、第1回若山牧水賞受賞）
栗木 京子氏（歌手、「塔」選者、第8回若山牧水賞受賞）
伊藤 一彦氏（歌手、宮崎県立図書館名誉館長、「心の花」選者、「現代短歌・南の会」代表）

7 特別顧問

岡野 弘彦氏（歌手、日本芸術院会員）
馬場あき子氏（歌手、日本芸術院会員、「かりん」主宰）

8 賞

正賞（賞状、記念品：トロフィー）及び副賞（賞金100万円）

9 若山牧水賞運営委員会

委員長 宮崎県知事 河野俊嗣
副委員長 宮崎日日新聞社会長 町川安久
宮崎県教育長 黒木淳一郎
委員 延岡市長 読谷山洋司、日向市長 十屋幸平、
（公財）宮崎県芸術文化協会会長 内藤泰夫、歌手 伊藤一彦、
宮崎日日新聞社編集局長 森耕一郎、宮崎県総合政策部長 松浦直康
監事 宮崎日日新聞社生活文化部長 中川美香、宮崎県総合政策部次長 矢野慶子

10 後援

（公財）宮崎県芸術文化協会、宮崎県歌手協会、若山牧水延岡顕彰会、
日向若山牧水顕彰会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、
西日本新聞社、日本経済新聞社宮崎支局、南日本新聞社、共同通信社、時事通信社宮崎支局、
NHK宮崎放送局、MR T宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、
夕刊デイリー新聞社、MCN宮崎ケーブルテレビ、ケーブルメディアワイワイ